



たとえあなたが人生に絶望しても、 人生はあなたに絶望していない

2020年2月、たった直径200ナノメートル（10億分の1メートル）程度の小さなウイルスだけで、社会にきわめて甚大な被害となる世界的事件がおきました。新型コロナウイルス感染です。この小さなウイルスにより、それまで当たり前であった日常が一変しました。当たり前前に集まって楽しむことができなくなりました。一斉休校のため慣れ親しんだ学級の友人ともきちんとした挨拶をせずにお別れしないといけなくなりました。楽しみにしていた家族旅行がキャンセルになりました。マスクやアルコール消毒が手に入らなくなり、紙が不足するという憶測からトイレットペーパーまで商品棚から消えてしまいました。イベントが中止となり、旅行がキャンセルとなり、歓送迎会も自粛となり、飲食店、ホテル・旅行業界の人達の仕事はとて厳しくなりました。多くの人を集めて仕事をしてきたスポーツ・芸能関係の人達も、それまでの日常では考えられないほどの世界に映ることでしょう。

新型コロナウイルス感染の影響は甚大です。その思いを一言で言えば“不条理”です。

この不条理な社会をあなたはどう生きますか？

誰かを批判しても不条理な現実を変えることはできません。

因果応報という言葉があります。過去や前世の行いに応じて現在の状況が生ずることを意味する言葉です。しかし、良い行いをしていた人が、よくない負の出来事で苦しむことがあります。今まで真面目に仕事をしてきた人が、突然の新型コロナウイルス感染の影響から、大きな負債を抱えてしまうことがあります。

なぜ、必死に準備をしてきたのに

中止しなくてはいけないの？

どうして、真面目に仕事をしてきたのに

仕事なくなるの？

なぜ、来年ではなく、今なのだろうか？

どうして、私がこんな目に

あわなくてはいけないの？

どれほど泣いても時間は過去に戻りません。どれほど悔やんでも失ったものは戻ってきません。とても因果応報なんて思えない人もいます。この不条理な現実を前にして絶望を味わう人も少なくないでしょう。

永年、終末期医療の現場で仕事をしてきました。さまざまな病気などから間もなくお迎えが来る患者さん・家族に出会い、その人達の支援にあたってきました。そこでの経験からわかることは、たとえあなたが人生に絶望したとしても、人生はあなたに絶望していないということです。

人生は、たとえ不条理に見えたとしても、そこに希望の光を見出す可能性があります。なぜならば、人はまもなく死を迎えることがわかっていたとしても、穏やかさを取り戻すことがあるからです。

信じられますか？あと1-2ヶ月で自分がこの世からいなくなるとわかっていたとしても、家族や友人と笑顔で過ごす人達がいるのです。たとえ、仕事を失い、家事ができなくなり、やがて一人でお風呂もトイレにも行くことができなくなったとしても、穏やかな日々を送る人達がいるのです。それは、一部の人が起こす奇跡ではありません。私たち全員が持つ可能性です。

どんなに不条理な社会であったとしても、私たち一人一人が笑顔で過ごせ、そして、同じように苦しんでいる誰かのために優しくなれますように、一助になれることを願っています。

小澤竹俊

4月の研究会は オンライン配信で開催予定です

新型コロナウイルス感染予防のため、しばらく集合しての研修は控えることが求められます。次回2020年4月21日（火）の地域緩和ケア研究会は、オンライン配信（Zoom）で開催予定としております。詳細がわかりましたらWeb上で紹介いたします。テーマは、“あなた変わりはないですか”と題して、お互いに近況報告できることを検討しています。

診療実績

	2006- 2018年	2019年 計	2020年 1月	2020年 2月	2020年 計	総計
訪問回数	70,753	10,356	770	736	1,506	82,615
自宅永眠	2,252	218	14	20	34	2,504
施設永眠	349	60	4	6	10	419
在宅 (自宅+施設)	2,601	278	18	26	44	2,923
病院永眠	711	83	6	7	13	807